



データベース編



図書館のホームページをよく見るのですが、情報検索の中で蔵書検索の次にあるデータベース接続という項がありますね。このデータベース接続は学内でしか接続できないものがあるそうなのですが、学内でしか接続できないものって本当にあるのですか。



そうです。学外からもみられるものは各自でもてもらうことにして、ここでは、学内の端末でしか、アクセスできないデータベースの説明をしましょう。主に次の3つです。

EBSCOhost (エブスコ・ホスト) は外国雑誌オンラインデータベースです。

日外Webサービス雑誌記事索引ファイル。これは1975年から現在までの雑誌記事を検索することができるデータベースです。

CD-ROMWeb検索サービスとしては、J-BISC 国立国会図書館の蔵書目録CD-ROM。同館が所蔵している明治期から現在までの図書を検索することができます。他に、Nipponalia、マジカルKYOTO、2001年度卒業論文などのCD-ROMを検索することができます。



具体的にどのようなサービスなのですか。



EBSCOhostは英語で書かれた雑誌論文・記事の全文・抄録を学内のインターネットで検索利用できます。でも、すべての雑誌が収録されているわけではないので、収録タイトルリストで確認するとか、検索画面で雑誌名で限定してみたりすると確実に収録対象の雑誌がわかります。

雑誌記事索引ファイルは、購読できる学術雑誌の記事と、一寸馴染みがないかも知れないですが、各大学からでている研究紀要の一つ一つの、論文について著者名、論題のキーワードから探すことができます。あくまでも文献リストですので、現物は図書館で所蔵しているものはそれを見てもみるとか、本学にないものは、他の大学図書館から相互協力を通して、入手することになります。本学に所蔵がないものについては、レファレンスカウンターに問い合わせてください。CD-ROMWeb検索サービスも、基本的には文献のリストです。



学内の端末でアクセスできるものは、便利ですね。利用するとき特に注意することは、あるのですか。



国内の主要な学術雑誌の、論文がキーワードで探せる雑誌記事索引ファイルなどは、論文やレポートを書くためのすばらしい文献リストです。キーワードを的確に入力すること、いろいろのキーワードから、アプローチすることが大切ですね。著者からも探せるのでこれも新しいキーワードを知るための良い機会となるかも知れませんよ。なお、1974年以前の雑誌に掲載された文献のリストについては、1948年から「雑誌記事索引」が本の形態で、レファレンスコーナーに置いてあります。